

平成 26 年 12 月 23 日

南の風 97

南部ミニバスケットボール連盟
会 長 藤原 敬一

羽田ヴィッキーズの調子がでません。ちょっと心配です。

現在0勝14敗です。(12月21日現在)今シーズンは、私もまだ羽田のゲームを観戦していません。今年は新戦力も入り、星澤純一ヘッドコーチも張り切っていました。これまでの羽田の戦いぶりをスタッツで見てください。(12月21日現在 通算14試合の結果)

1 平均得点	49.71	6 RPG	34.50
2 平均失点	80.14	7 APG	10.64
3 FG%	29.47%	8 TPG	17.00
4 OPPFG%	45.65%	9 GA	0.62
5 3PPG	6.00		

※3はフィールドゴール成功率、4は相手のフィールドゴール成功率、5は3Pチーム平均本数、6はリバウンドチーム平均数、7はアシスト無平均数、8はターンオーバー平均数、9はゴールアベレージです。

昨年度のリーグ戦の時や、今年度のリーグ戦が始まる前に何度か星澤ヘッドと話をする機会がありました。兎に角去年は、WJBLに参戦して一年目の年です。たいへんなご苦労だったと思います。そんな中、星澤ヘッドの「藤原先生、マンツーマンがうまく機能しません。」という一言が印象的でした。我々が感じている「うまく機能しない。」とでは、全然次元の違う話です。深く聞くことはしなかったのですが、苦悩する様子が伝わってきました。トップリーグは、きっと我々など想像できない難しさがあるのだと思います。

しかし、去年のリーグ戦4勝のうちの1勝、富士通戦は見事でした。得点をロースコアに持ち込むために、チェンジングディフェンスを巧みに使い、思うようなオフェンスをさせなかったのです。また、相手のエースをしっかりと押さえ得点を封じていました。一方羽田のオフェンスは、スクリーンを要所で使い、うまくノーマークをつくりシュートチャンスにつなげていました。高さのある相手に対してインサイドにこだわりすぎなかったのも正解でした。最後は5点差で逃げ切りました。おそらくあのゲームが、去年の羽田ヴィッキーズのベストバウトだったはずですよ。(65対60での勝利)

さて、羽田がここまでまだ勝てない理由を自分なりに考えて見ました。ここからは私見です。

まず相手チームに、羽田の戦い方が研究されていることがあります。新戦力が入ったとはいえ、1対1はどうしても他のチームより劣ります。上述した去年の富士通戦のように緻密に考え、組織で戦うことが羽田の持ち味ですが、対戦チームは羽田の戦い方に慣れてきたように思います。相手もすべてトップリーグのチームです。同じ手は食わないのでしょうか。

上記のスタッツを見てもお分かりのように、羽田の平均得点は50点弱です。失点の平均は約80点です。この当たりをどうしていくかが、当然今後の課題です。星澤ヘッドを始め、選手の皆さんの頑張りを期待して、我々はしっかり応援したいと思います。まずは『オールジャパン頑張れ!!!』ですね。